

## 第 27 回放送番組審議会議事録

日 時 令和 8 年 3 月 9 日（月）午後 2 時から午後 3 時 30 分

場 所 鳥取市役所 2F 多目的室 3

出席者 <委員>  
藤原 俊文（会長） 竹内 利枝子 鳥飼 友太  
福田 忠司 山本 英世 山本 美保 （敬称略）  
<放送局>  
森山 武（代表取締役社長）  
川本 弘則（常務取締役） 松尾 一郎（制作部マネージャー）

**【報告事項】** 昨年 7 月に開局 25 周年を迎えたぴよんぴよんチャンネル。行政番組では、姉妹都市提携 30 周年と 20 周年の節目を迎えた山口県岩国市と福島県郡山市との交流の歩みを紹介する特別番組の放送。

二十世紀梨の 120 年の歴史や先人の苦労を振り返るとともに生産者の思いを取材した「天職の青梨～鳥取・二十世紀梨 120 年の道のり～」がケーブルテレビ連盟中国支部アワード企画番組部門で 1 位を受賞したほか、開局から放送している小学校に入学した 1 年生に将来の夢などを聞く「こんにちは一年生」このコーナーを元に二十歳を迎えた当時の一年生を探す企画番組「おめでとう 二十歳になった一年生」が審査員特別賞を受賞した。

このほか鳥取県ケーブルテレビ協議会の共同制作番組では、毎年恒例の夏の高校野球中継に加えて今年度は、秋の中国大会の模様を全試合放送を行うなど、行政番組をはじめ、農業番組、コミュニティ番組など、地域に根差した番組作りに取り組んだ放送内容を報告

### 【審議事項】

#### ①自主放送番組について

委員 1 つ 1 つの放送時間が長くしっかり番組が作ってあるので内容が分かりやすい。

- 委員 「佐治谷ばなし」は後世に残さなければならない文化。  
番組で収録して放送することで、文化を伝えることができるから大切な取り組みだと思う。
- 委員 見ていて「ほっこり」する。廃れていく文化もあるが番組を通して語り継がれることが素敵だと思う。
- 委員 見逃しても1日中繰り返し放送しているので助かる。  
また別の日でもリクエストができるのは知らなかった。
- 委員 スタッフが体験する様子は、親近感が持てる。  
感情も入り内容が分かりやすいので、もっとしてほしい。
- 委員 伯耆町ケーブルとのコラボ番組をいつも見ている。  
互いの町を紹介してエリア外の情報が知られるので良い番組だと思う。

## ②番組視聴・合評

- 「とっとり I J U 人（とっとりいじゅうびと）」  
I ターン、J ターン、U ターンで鳥取市に移住した人を紹介する  
とっとりウォーキングのコーナー企画番組。  
番組は、10年前に I ターンで鳥取市に移住した太田直里さんが  
木や森を守るスペシャリスト「樹護士アーボリスト」として、  
地域と関わりながら自分らしく暮らす姿を紹介する
- 委員 移住された人の人となり分かり、テレビ取材を通して地域の方に  
知ってもらえる機会になる。
- 委員 地元の人にはない視点が移住される人にはあり気付かされる  
新しい視点、斬新な考えで地域の活性化につながっていく。
- 委員 移住者のコーナーを一まとめにして特集すれば面白いと思う